


JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

JHFレポート

11・12月号
2001年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>



空はひとつ。

空は私たちの頭上にどこまでも続く。
人間が定める境界線など、関係ない。
風に乗り果てしない空間に遊ぶ
この幸せ！
山を谷を川を野を越えていく
このおもしろさ！

そろそろ雪便りが届く頃。
ウォーミングアップを十分に、
安全なフライトを。



写真上:今夏スペインで行われた世界選手権。ブラジルのベッチーニョ選手、テイクオフ。下:フランスのディーニュにて。

JHFレポート 11・12月号	Contents
P 2 ドイツに学ぶ-DHV視察報告	P 8 委員会の動き
P 4 安全講座 なぜ事故を起こすか。	P 9 こんな教員になりたい! カレンダー
P 5 2001年事故概要	P10 法務委員会始動 理事会ダイジェスト
P 6 県連だより 徳島県ハンググライディング連盟	P11 委員募集 理事活動報告
P 7 県連ニュース	P12 @sky 空の楽しさ満載の情報ページ

ドイツに学ぶ。

ドイツハンググライダー連盟(DHV)視察調査報告 その1

JHF教習検定委員会 委員長 小野寺 久憲

安全性基準といえばDHVの三文字が頭に浮かぶほど、安全について確固たる姿勢を見せるドイツハンググライダー連盟。その教育システムや運営方法から学ぶため、この夏、11名の教員がDHVを視察した。

今月号から数回に分けて、DHV視察調査について詳細を報告します。調査結果の概要だけでなく、連盟組織と運営、教員更新講習とパフォーマンススクールシステム、教育科目と実施要領などについても具体的に報告していく予定。今回は「DHV組織の概要」です。

DHV視察調査団の編成

国内におけるハング・パラグライダーの事故はなかなか減る兆しが無く、その根本的な事故原因がどこにあるのか、情報の収集と検証を行ってきた。レッグベルトの締め忘れやフックアウト等による悲惨な事故が繰り返され、スカイスポーツの社会的信頼度は低下の一途を辿っている。啓蒙や普及の懸命な活動にも関わらず、スカイスポーツ人口の減少傾向に歯止めがかからない。過去において同じような道を歩んできたヨーロッパ各国において、特にドイツで

は教育システムの大改革を行い、大きな効果をあげていると聞いた。そこで、この新しいDHV教育システムと運営方法を調査するため、JHF教員によるDHV視察調査団を編成することとした。

7月上旬から9日間の日程で、DHV本部と、新しい教育システムにより認定されたパフォーマンススクールを訪問し、インストラクターのためのコースを受講して、そのシステムの詳細を調査しようというものだ。

この視察のために承認されたJHFの予算は僅か25万円であり、費用のほとんどは、派遣する団員の個人負担に頼らざるを得ない。このため公募することは見送り、主に一昨年、舞鶴近郊で行われたJHF教員セーフティセミナー参加者の中から、各地区別に参加者を募ることとした。調査団12名の顔ぶれは、以下のとおり。

九州地区 河部清治(福岡県)

- 中国地区 関口泰生(岡山県)
- 近畿地区 大沢行英(京都府)
- 近畿地区 岩井克紘(大阪府)
- 北陸地区 若林恵子(富山県)
- 甲信越地区 清 貞雄(長野県)
- 関東地区 半谷貞夫
(東京都 教習検定委員)
- 関東地区 佐藤哲也(埼玉県)
- 北関東地区 高橋 愷(茨城県)
- 東北地区 小野寺久憲
(秋田県 教習検定委員)
- サポート兼通訳 扇沢 郁(富山県)
- 委託通訳 テーティン礼子
(ドイツ在住)

DHV本部

本部は、ドイツの大都市ミュンヘンから南へ100Kmほどの小さな田舎町にあった。木造3階建ての小奇麗な建物。中は、一室10畳から20畳ぐらいの部屋が15室ほどあり、とても仕事がしやすい素晴らしい環境に



DHV組織運営について熱心な質疑応答。後半には様々な経営資料を引っ張り出してくれ、細かく見せてもらった。



DHV審査の中核、テクニカル部門室。今まで行ってきたテストの記録が整然と並び、どの部屋もこんな雰囲気。



南部の代表的パフォーマンススクール(エリア環境や施設、備品などDHVの審査を受け認められた)の講習室。

なっている。1～2人の担当者に一室が与えられていて、一室ごとに電話やファクシミリ、コピー、パソコンなど一通りの物が揃っている。

常勤職員は16名、嘱託職員14名。いずれも、担当する業務について経験豊富なプロフェッショナルを雇用しているとのことであった。職員の給与や諸待遇は、日本の国家公務員とほぼ同様であり、テクニカル部門に所属するテストパイロットには、更に特別な手当が支給されている。

この本部事務所内で、常時活動している部門は次のとおりである。この他の部門は、必要に応じ、嘱託職員が出勤して対応する。感心したのは、常時活動していない部門にも一室が割り当てられていて、整然と準備された室内と備品等は、いつでも瞬時に活動できる態勢にあったことだ。

DHVの常時活動している部門

総務・管理部門
 会員サービス受付部門
 会員入会管理部門
 ライセンス発行部門
 エリア管理部門
 保険業務部門
 広報誌編集発行部門
 インターネット管理部門
 スポーツ競技管理部門
 教員養成部門
 テクニカル部門
 経理部門

DHVの運営

連盟の運営を経済面で支えているのは、会員の会費とライセンス発行収入、機関誌の広告収入、機体や装備品の審査収入が主なものであって、国からの援助・補助金は受けていない。

沢山の情報が満載、カラー刷り150ページの機関誌「DHV info」の魅力もあって、31,000名の会員を有している。

会費は年間約7,500円で、日本と同様な保険加入と年6回発行の「DHV info」の配布を受けられるが、会員の受けるサービスの中で最も重視されているのは、安全管理に関わることである。会員の使用する機材、エリア、教育など、全ての面で徹底した安全管理が行われていて、会員の利益と安全を



DHV本部。ミュンヘンの南約100kmの小さな田舎町にある。木造3階建て、1階の一部はコンビニエンスストア。

守っているのだ。エリアを開設する時も、DHVの審査を受けて許可を得なければならない。このDHVの徹底した安全追求の姿勢が、会員や国から高い評価と信頼を受けている。DHVの年間総収入は約3億4000万円、会員の会費収入は約2億2000万円である。

安全対策の一例

ドイツ国内においても、パラグライダーハーネスのレッグベルト締め忘れ事故が多発した。1年に8名もの命が失われることがあって、DHVは2年ほど前に、締め忘れ落下防止システムを装備していないハーネスの全面販売禁止措置を行うとともに、事故防止を呼びかけるビデオテープやCDを制作し配布した。以後この2年間、ハーネスからの脱落事故は発生していない。

以下は、DHV総務部長のクラウス・タンツラー氏の言葉である。

「パイロットから大きな信頼を受けているからこそ、DHVは強い権限を持つことができる。

DHV安全基準に合格していない製品は販売を認めないというような規制は、自由経済システムの中で批判もあるだろうけれど、それで安全が確保されるのなら、遠慮など不必要。会員の安全と利益を最優先に具体的な活動をする。そのことが会員から求められているのだから」

前述のハーネス販売禁止措置は、テクニカル部門から提案があって、数人の理事と

相談、数日で決定されたそうだ。(次号で詳細を報告したい。)

パイロットの安全確保を最優先にして精力的な活動を続けるDHV。全てのシステムや組織が安全確保のためにだけ活動をしているといっても過言ではない。

JHFは、島国であるわが国で、風土環境に合致した独自の組織と運営方法を育ててきた。一方で、その運営を評価してくれる同種団体がそばになかった。そして、運営方法を学ぶことができなかった。全てが手探りで良い方向を見つけ出そうとしてきたが、長い時間を要し、間違いもあった。いつの間にか気が付かないままに、世界のレベルに遅れてをとっていた。

今回訪問したDHVの設立は22年前であり、その規模もJHFと大きな差はない。しかし、その事業内容や運営内容は、計りきれないほどの差がある。

機体や装備の安全基準を、一国だけではなく広く統一しようという動きがヨーロッパで始まり、統一基準作りにも日本も加わらないかと、個人レベルの打診があったと聞いている。この動きの一端を担うことは、JHFが国際社会の中で、その存在を示す足がかりとなるであろう。

あらゆる面で、ドイツやフランスなどヨーロッパ諸国の連盟に学ぶべきことがたくさんある。JHFはもっと外にも目を向け、今回のような視察派遣を継続的に行うことが必要と考えられる。



中部のパフォーマンスセンターで。手足が動く人形を使って、離陸から着陸までの姿勢を詳細に説明。ビデオ併用。



宿泊先のホテルにDHV教習委員長が出張。夜11時過ぎ、安全な離陸方法について心理学にも基づいた講義。

今、JHFでは教員の更新講習会の実施方法について、各都道府県連盟や教員の方からアンケート方式によるご意見をいただき、その集約作業を進めている。

先進諸国に学び、安全のために妥協のない教育システムの構築を早急に進めなくてはならないという思いは、今回の視察調査で更に強くなった。教員更新講習の実施については、すでに3年間もの長い間、討論を行っている……

なぜ事故を起こすか。

人間は完璧ではない。ミスをして当然。
しかし飛行に関するミスは、取り返しのきかない結果を招く。
安全に飛び続けるために、なぜ事故が発生するか考える。

ぼんやりと意識がもどる中で、みんなが自分の周りに集まってなにか必死に大声をだしている。

「大丈夫か! しっかりしろ!」

どうしてみんな真剣な顔をしているのだろうか。どうして自分の周りに集まっているのだろうか。錯綜する記憶の鳥をゆっくりほどきたどっていく。今いったい何が自分の周りで起きていて、自分は何をしていたのだろうか。柔らかい牧草の上に横たわり、風がやんわりと頬を撫でていく。自分を囲む人々の隙間から真っ青な空と眩しい太陽、そして滑空する飛行体が見えた時、すべてを思い出す。自分は墜落したのだ...

ヒューマンエラーはなくなる

何世紀も昔から人類が求めてきた夢、空を飛ぶこと。鳥のように自由に大空を飛びたいという夢は、多くの先人達の犠牲を伴い叶えられました。私たちの愛好するハンググライディングやパラグライディングも、発明当初は多くの人々が犠牲となって発展進歩を遂げ、今現在も進化をし続けています。より安全に、より高性能にという夢は限りなく、様々な新しいテクノロジーや素材によってこれからも進化していくことでしょう。しかしいくら道具が進歩しても、結局は道具の使い手、つまり私たちフライヤーが間違った使い方をすれば、事故や怪我はなくなりません。先人達の時代からしてみれば、驚くほど高性能かつ安全なグライダーがあるのにも関わらず、事故がなくなることはありません。

今年も悲しい事故が発生しました。事故報告書によれば、死亡事故の多くが、ハーネスのレッグベルトの締め忘れといった、本当に初歩的なミスによって引き起こされま



クロスチェック(岡山県フライトフェスティバルより)

した。ハーネスにきちんと人間を固定していなければ落ちてしまうのは当然のことです。考えなくても想像できることですし、自分は絶対にそんなミスはしないと誰もが思っていることです。それでも毎年同じ様な事故が起き、どこかで誰かが同じ過ちによって尊い命を失っているのは、まぎれもない事実なのです。

最近では各種の脱落防止システムを採用すること、クロスチェックをすることによって、レッグベルト締め忘れによる事故は減少していると聞いています。また脱落防止システムがないハーネスではフライト禁止というエリアも増えてきているようです。単純にレッグベルト締め忘れによる事故は減っているかもしれませんが、脱落防止システムを装備しているから必ず安全かと言えばそうではありません。ヒューマンエラーは起きるものなのです。

事故を防ぐのはフライヤー自身

ではなぜ事故は起こるのでしょうか。

車やバイクの事故を例に挙げると、事故発生には3つの要素があるとされています。認知、判断、操作のいずれかをミスすることによって事故は起きます。教習場では操作の部分しか教えることができません。しかし実際の事故の80%は認知、判断のミスが原因とされています。

ではハンググライダー、パラグライダーではどうでしょうか。やはりスクール講習のほとんどが操作の部分になってしまいます。地上を走る車やバイクと違って3次元の空間を自由に移動できるスカイスポーツでは環境がまったく異なり、一概に同じとは言えませんが、やはり事故のほとんどは認知、判断、操作のいずれかのミスによって起きています。単純に操作を間違ってしまった。気象知識に乏しく危険なコンディションで飛んでしまった。他機と同時にランディングに進入してしまった。等々、正しい操作、判断、認知ができればいずれも避けられることばかりでしょう。

しかし、いくら細心の注意をはらっていても、人間は危険を忘れてしまい、また間違いを起こすのも確かなことです。空を飛ぶという楽しいことや喜びばかりを追ってしまい、リスクを忘れてしまうのです。

事故を起こした人のほとんどが「どうし

てあんなことになったのだろう」とか「なにも覚えていない」といった言葉を口にしています。本来、地上で生活しているように物事を考え、判断し、正しく操作できれば事故などほとんど起きないはずですが。しかしながら、空を飛ぶということは日常から逸脱し、思考力は1/3に低下すると言われている中で、自分の想像を超える出来事が起きればパニックを起こすことは必然なのです。

初級者にいたっては簡単な計算もままならない状態にある訳ですから、なにか自分の想像外の出来事が起きたときに、正しく素早く判断し行動するには、日常的な訓練が必要になります。まずは正しく操作することは基本中の基本です。グランドハンドリングは最も効果的な練習のひとつだと思います。

また私たちのハンググライダー、パラグライダーは、ほんの少しの気象の変化で、飛ぶ、飛べない、安全、危険ということが左右されてしまいます。したがって、安全にフライトをするためには気象の知識は必要不可欠なものです。

事故が起きるまでには必ずプロセスがあり、そこに至るまでに未然に防ぐことも大切なことです。そのためにはあまり想像をしたくないことではありますが、もし空中でなにかが起きた時に、どうしたら危険を回避できるのかを考えておくことも重要な要素になります。日常的に事故の可能性を想定して考えておけば、とっさの時には意外と素早く行動できるものです。防災訓練がその例です。

これらの事柄をきちんとしていても事故は起きます。レッグベルトの締め忘れやフックアウトは昔からある事故で、対策を考え対応しても発生しているのが現状です。これらの事故はすべてヒューマンエラーです。ヒューマンエラーは起きるのだという認識。これが事故を防ぐ第一歩だと思います。そのエラーを減らし、確かな操作、正しい知識を蓄えながら経験を積むことによって、事故を未然に回避し、空を飛ぶという夢の実現があるのです。

私たちは空を飛ぶという素晴らしい世界を知っています。この素晴らしい世界を、冒頭のような体験をせず、ずっとずっと飛び続け、喜びをより多くの人たちと共有していきましょう。

広報出版局 松原正幸

2001年ハンググライディング・パラグライディング事故概要

(9月19日現在 JHF安全性委員会作成)

- 【No. 1】 ハンググライディング
 発生日時：3月14日(水)11:32頃
 発生場所：茨城県新治郡八郷町
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 西・正対(±20°)
 風速 = 2~4m/s
 事故者：21歳、女性、HG-B級
 飛行歴 = 1年4ヶ月
 事故状況：畦道の法面に接触、両腕上腕骨骨折、重傷。
 経過：高度処理中に風下へ流され背風接地。
- 【No. 2】 パラグライディング
 発生日時：4月7日(土)14:30頃
 発生場所：福岡県浮羽郡田主丸町耳納エリア
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 北西・正対(±30°)
 風速 = 3~4m/s
 事故者：29歳、男性、PG-XC証
 飛行歴 = 9年11ヶ月
 事故状況：スパイラル状態で接地、第3、4番頸椎骨折、重傷1ヶ月。
 経過：高度5~6mで右翼端が潰れ、回復せぬまま接地。
- 【No. 3】 パラグライディング
 発生日時：4月22日(日)16:30頃
 発生場所：大分県玖珠郡玖珠町伐株エリア
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 北・正対
 風速 = ?
 事故者：50歳、女性、PG-P証
 飛行歴 = 5年
 事故状況：他機と空中衝突、無傷。
 経過：リッジソアリング中、折り返し旋回時に後続の機体と正面衝突した。
- 【No. 4】 ハンググライディング
 発生日時：4月30日(月)11:10頃
 発生場所：山形県南陽市十分一山エリア
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 南・正対(±10°)
 風速 = 2~3m/s
 事故者：45歳、男性、PG-XC証、HG-C級
 飛行歴 = 10年以上
 事故状況：山の斜面に突っ込む。脳挫傷、重傷。
 経過：緩やかなサーマルを捉えてソアリング中、山肌を回避できず衝突。
- 【No. 5】 パラグライディング 死亡事故
 発生日時：5月3日(祝)13:30頃
 発生場所：大分県玖珠郡玖珠町伐株エリア
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 北・正対
 風速 = 3~4m/s
 事故者：82歳、男性、PG-P証
 飛行歴 = 12年
 事故状況：操縦不能のままローターに入り失速墜落。内臓破裂、死亡。
- 経過：両足のレッグベルトをかけずに離陸。シートに着座できずブレークコードを引きっぱなしの状態となった。
- 【No. 6】 パラグライディング
 発生日時：5月12日(土)11:00頃
 発生場所：愛知県北設楽郡稲武町池の平エリア
 気象状況：天候 = 快晴
 風向 = 西・正対
 風速 = 2m/s
 事故者：49歳、男性、PG-B級
 飛行歴 = 1年6ヶ月
 事故状況：翼端が潰れてスピનに入り墜落。首、肩を損傷、重傷。
 経過：着陸前の高度処理中にサーマルにはじかれた。
- 【No. 7】 パラグライディング 死亡事故
 発生日時：6月12日(土)12:55頃
 発生場所：山形県上山市蔵王坊エリア
 気象状況：天候 = 晴/曇り
 風向 = 西・正対
 風速 = 2m/s
 事故者：47歳、男性、PG-P証
 飛行歴 = 8年
 事故状況：両翼が50%潰れて高度15mから落下。心臓付近の血管を損傷。出血性ショック、死亡。
 経過：離陸して間もなく、左翼ついで右翼に大規模な潰れが発生、回復せぬまま落下。
- 【No. 8】 パラグライディング 死亡事故
 発生日時：6月17日(日)14:40頃
 発生場所：静岡県富士宮市根原朝霧エリア
 気象状況：天候 = ?、風向 = ?、風速 = ?
 事故者：57歳、男性、PG-NP証
 飛行歴 = 1年、60回
 事故状況：離陸して数分後ハーネスから外れて落下。頭部損傷、死亡。
 経過：レッグベルトおよびチェストベルトのバックルを掛け忘れて離陸。
- 【No. 9】 パラグライディング
 発生日時：7月4日(水)16:00頃
 発生場所：岡山県真庭郡久世町
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 北・正対(±30°)
 風速 = 2~3m/s
 事故者：51歳、男性、PG-XC証
 飛行歴 = 10年
 事故状況：アウトランディングに失敗。脳挫傷、くも膜下出血、肺損傷、重体。
 経過：クロスカントリー飛行中に高度を失い、アウトランディングを試みたものと推定されるが、関係者の目撃がないため、詳細は不明。
- 【No. 10】 パラグライディング 死亡事故
 発生日時：7月5日(木)10:30頃
 発生場所：岐阜県揖斐郡池田町池田山エリア
 気象状況：天候 = 快晴
 風向 = ?、風速 = ?
 事故者：63歳、男性、PG-XC証
 飛行歴 = 6年
 事故状況：高度60mから落下。死亡。
 経過：レッグベルトを掛け忘れての離陸。一度離陸に失敗し、その際に体の動きを楽にするため、レッグベルトを外したと推定される。
- 【No. 11】 パラグライディング
 発生日時：8月18日(土)11:49頃
 発生場所：北海道上川郡比布町比布エリア
 気象状況：天候 = 快晴
 風向 = 西・正対(±30°)
 風速 = 2m/s
 事故者：46歳、男性、PG-P証
 飛行歴 = ?
 事故状況：失速落下。腰椎圧迫骨折、重傷1ヶ月。
 経過：サーマルソアリング中、低速で旋回したため失速。
- 【No. 12】 パラグライディング
 発生日時：8月14日(火)15:00頃
 発生場所：長野県下高井郡木島平村
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = 北北西・正対
 風速 = 3m/s
 事故者：25歳、女性、技能証・飛行歴なし
 事故状況：ライズアップ後の助走中に転倒。左足首捻挫。軽傷。
 経過：初心者体験講習中。
- 【No. 13】 パラグライディング
 発生日時：8月15日(水)11:30頃
 発生場所：長野県北安曇郡白馬村パラトピア五竜エリア
 気象状況：天候 = 快晴
 風向 = 南東・正対
 風速 = 2~3m/s
 事故者：39歳、女性、PG-B級
 飛行歴 = 4年10ヶ月
 事故状況：失速落下。腰椎圧迫骨折。重傷1ヶ月。
 経過：着陸進入中に速度が抜け、失速。
- 【No. 14】 パラグライディング 死亡事故
 発生日時：8月25日(土)12:10頃
 発生場所：岡山県邑久郡邑久町虫明エリア
 気象状況：天候 = 晴
 風向 = ?、風速 = 3m/s
 事故者：50歳、男性、PG-NP証
 飛行歴 = 2.5年
 事故状況：飛行中に岩に激突。頭部損傷、死亡。
 経過：詳細不明。

勝浦フライトパークのテイクオフサイト。

県連だより



パラもハングも補助動力も、飛びやすい環境が整っている。
徳島県ハンググライディング連盟 理事長 椋本 清治

徳島県の特徴

徳島県は四国の東部に位置し、明石、鳴門海峡大橋により、京阪神からも近く、意外とアプローチし易い位置にあります。

また、エリアの管理もいきとどいていて、飛びやすい環境が整っていますので、もっと県外からのフライヤーにも来ていただきたいものだと思っています。最近、佐那河内村(大川原高原)にパラグライダーのエリアが、鴨島町に動力付パラグライダーのエリアが新しく出来ています。



毎年秋にパラグライダー体験講習会を行っている。

徳島のエリア

三加茂エリア(三加茂町)

連絡先:0883-82-5909

パラグライダー

四国HGサイト(美馬町)

連絡先:0883-63-4557

ハンググライダー

吉野川エリア(上板、鴨島)

連絡先:0886-25-6673

モータパラグライダー、モータハング

勝浦フライトパーク(勝浦町)

連絡先:0886-52-3073

パラグライダー、ハンググライダー

大川原(佐那河内村)

連絡先:0886-33-6933

パラグライダー

岡本山エリア(海南町)

連絡先:08847-2-0483

パラグライダー

徳島県連の活動

徳島県ハンググライディング連盟は、現在、約100名の連盟員で活動しています。内訳はパラグライディングが90%、ハンググライディングが15%で、重なっている部分は両方している人です。

活動としては、理事会と委員会です。奇数月の第一月曜日に理事会、偶数月の第一月曜日は事務局日です。また、設立当初より以下の委員会があり活動も活発です。

安全教習委員会

事故報告や安全講習会(今年はビデオを使って)をしています。

競技委員会

大会の参加の役に立てばと、四国のポイ

ントシステムを実施しています。もちろん日本選手権への各県代表者の選出にも利用しています。

また、県連主催の競技会も開催しています。今年も10月14日に三加茂エリアで行いました。

補助動力委員会

最近、活発になってきました。徳島県には一級河川の吉野川があり、この河川敷を利用しているので広々と飛んでいます。

今年の夏には「吉野川フライン」として災害協力を模擬したゲームフライトや、親睦会を行いました。(FLMの人たちと合同での開催です。)

また、補助動力で平地から飛べるので、イベント協力としてのデモ飛行などの依頼もあります。今年、美馬町のオートキャンプ場のオープンや、鴨島町の吉野川マラソンでデモ飛行しました。

普及委員会

毎年秋に徳島県スポーツレクリエーション祭の一環として、パラグライダー体験講習会を開催し、一般の人たちにパラグライダーの実物に触ってもらい、理解を広めています。

広報委員会

県連レポートとホームページを運営しています。徳島県ハンググライディング連盟のホームページURLは以下です。

<http://www.alles.or.jp/mukumoto/thf/> 一度のぞいてみてください。

徳島県連へのお問い合わせは下記まで

TEL.0886-25-6673 椋本清治

県連ニュース

宮城県ハンググライディング連盟

[無料体験講習会と宮城県そらまつり]

9月15日(敬老の日)宮城県川崎町にある、みちのく社の湖畔公園で、県連主催のハンググライダー・パラグライダーの無料体験講習会が約90名(ハング20名・パラ70名)の参加者を集め開催しました。

当日はあいにく曇りであり風もなく、スタッフは体力勝負となりましたが、参加者に少しでも空に浮いてもらおうと、皆一生懸命汗を流して頑張っていました。フライヤー人口が頭打ちになっている当県連に少しでも仲間が増えてくれればと思う一日でした。

来る10月28日(日)宮城県蔵王えぼしスキー場において、宮城県そらまつり2001を開催します。県連フライヤーの親睦を図ることが目的で、クラブ員からスクール生まで楽しめるお祭りです。

フリーフライト・指導員誘導によるスクール生フライト・爆弾落としなど盛り沢山の内容です。お問い合わせは下記まで。

TEL・FAX:022-241-2323 [記:今井政秀]

東京都ハング・パラグライディング連盟

[事務局が新しくなりました]

東京都連の事務局が次の通り新しくなりました。都連のホームページも充実していきます。是非見てください。各県連の皆さん!リンク集に載せますのでご意見欄に各県連のホームページアドレスなど書き込みをお願いします。

東京都連盟事務局(事務局長 文字英彰)

〒152-0004 東京都目黒区鷹番1-18-3 A1

E-mail:tokyohpf@skysports.or.jp

TEL・FAX:03-5722-6838

http://tokyohpf.skysports.or.jp

[記:事務局長 文字英彰]

[続・東京都にエリアが欲しい!!!]

県連ニュースを見て情報くれた人がいました。最近合併併足した西東京市が新市誕生に伴うシンボリックな公園を整備する計画を進めており、整備について意見を出してもよいとの事。早速下記のとおり(一部省略)提出しました。果たして結果は?このような努力が実を結びと確信しています。是非皆様も情報をお寄せください。

西東京市への提案「パラグライダーが飛べるフライトエリアを作って欲しい!!」広さを生かして、高さ30m程度のスロープ付きの小山を作っていただきたい。この小山の地下に歴史博物館や美術館、劇場、図書館等の箱物を考えれば一石三鳥ぐらいになるのでは? また全山芝貼りにして、パラグライダーが利用する時以外は老若男女が自由に登り下り出来、奈良の若草山のように愛されるシンボルになれば幸いです。

[記:日垣昌士]

兵庫県フライヤー連盟

[今年もやりますスカイフェスティバル]

今年で第4回を迎える兵庫県スカイフェ

スティバルを神鍋高原で行います。兵庫県以外の方でもフライヤー登録さえしていれば、どなたでも参加出来ます。

日程は、11月3日が助教員検定会とフェスティバル前夜祭。11月4日に兵庫県スカイフェスティバル。詳しい内容につきましては、兵庫県フライヤー連盟事務局まで。

〒669-5371兵庫県城崎郡日高町太田159-10

TEL:0796-45-0598 長谷川まで。

[記:広報担当 西谷]

岡山県ハンググライディング連盟

[岡山県フライトフェスティバル報告]

9月2日(日)笠岡干拓フライトエリアにて、第2回岡山県フライトフェスティバルを開催しました。県内の交流を図り安全にフライトを楽しんでもらおうというのが大会趣旨。岡山県のほとんどのエリアから約100名が参加、大いに盛り上がりました。

まずストレッチ体操、そしてJHSC安全セミナーで学んだクロスチェックを全員で。

笠岡干拓エリアは、とにかくランディング場が広く、なんと300m×1km! 安定した海風で飛べますが、当日はいつもの海風ではなく、A・B級はターゲット、NP・P証はシークレットパイロン+ターゲットというベーシックなタスクにも関わらず、選手は意外に苦労しました。3人チームでの団体戦も行い、とっても和気あいあい。選手の家族も加わって目的どおり楽しく交流しフライトする事ができました。仮装での参加で一番受けたのが、ターゲット狙いのため切り放された吹き流しのフグ。山でちゃんとリッジを取り自力フライト。このフグが仮装大賞を取りました。以下が結果。

NP・Pクラス

優勝:松浦秀政(瀬戸内フライトクラブ)

2位:高杉慎吾(KAZEクラブ)

3位:三原武照(OPG)

A・Bクラス

優勝:橋本章(KAZEクラブ)

2位:吉岡隆(大佐)・勝部弘幸(大佐)

団体戦

優勝:瀬戸内1(津島、松浦、竹之内)

2位:スキッパーズα(川下、友田、加藤)

3位:サンデーフライヤー(志茂、榊井、

中澤)

[記:川原雅朗]

広島県ハンググライディング連盟

[平和カップ2001 in 広島]

広島市でハンググライダー・パラグライダーの大会「平和カップ2001 in 広島」を次の要領で開催します。

日程:11月23日(祝)~11月25日(日)

場所:広島市 神の倉・荒谷山エリア

主催:広島県連盟(JHF公認予定)

参加人数:HG40名、PG60名

参加資格:フライヤー登録が有効なP証保持者

参加費:10,000円

競技内容:ゴールレース、スピードラン

申し込み締切:11月15日

大会事務局:090-2294-9537(児島)

[記:児島 彰]

山口県ハング・パラグライディング連盟

[きらら博大会報告]

8月19日(日)に山口県「きらら博」の会場にて、山口県レクリエーション協会主催の「スポーツの日」のイベントに参加しました。

6団体の参加でしたが、グラウンドの半分を山口県連が占領して、ハンググライダー・パラグライダーの展示及び体験会、グランドハンドリング大会を行いました。会場がすり鉢状のため、うまく立ち上げられるか、また台風11号の接近もあり心配しましたが、ベストの風が入り、終日楽しめました。特にパラの体験は行列ができるほど好評。急遽パラを追加して対応しました。体験者の三分の一はチビっ子でしたので、山口県連にとって明るい希望の見えた一日でした。[記:江本俊信]

福岡県ハング・パラグライディング連盟

[安全性委員会のセーフティーセミナー]

8月5日(日)耳納エリアの麓、田主丸町中央公民館において、JHF安全性委員会の後藤氏、西本氏を講師に迎えてセーフティーセミナーが開催されました。

急な開催案内にも関わらず九州各地から約30名が参加。福岡県連では、毎年安全に関するセミナーを行っており、以前後藤氏を講師に迎えたことがあるが、通常の消防署等で受講するものと違い、実際のフライト時の事故を想定した救急法を教えていただき大変役に立った。こういうことは一度の経験で即実践できるものではないので、参加者が各エリアに帰って事あるごとにシミュレーションすることが必要だろう。

また、このようなセミナーを地方で開催してくれた安全性委員会に感謝したいと思います。どうしてもJHFの催時は中央に偏っているような気がします。以前は教員研修等も各地方で開催されていたのに、最近は茨城1ヶ所のみで、そのうえ教員の更新研修が義務付けになるかもしれないとのこと。もっと地方のことも考慮してほしいですね。

[記:越智善治]



岡山県フライトフェスティバル参加者。和気あいの楽しい大会だった。

委員会の動き

PG競技委員会 曾我部 真人

2002年度に向けての大きな変更はありませんが、今問題になっているのがGPSを使ったレースシステムです。PWCでは当たり前のように使っているシステムですが、表記を日本語に変えて出力したり、大会プログラムを日本のものに変更したりという作業が上手く進んでいないのが、現状です。

そのプログラムもPWCプログラムに変えたりGAPプログラムに変えたりして、色々試しているのですが、単体だと上手くいくものも他のプログラムとの併用でつまづいています。設計者にも問い合わせしているのですが、コンピューターにも問題がありそうで、何とも言いえない状態です。

現在、日本のパイロットに試してもらっていますが、この秋の大会シーズンにテストできるかどうか解らないというのが正直なところです。

予定では、2002年のレースから全面的に使おうと思っており、とりえず単体での使用でテストしていく予定です。

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

2001年の競技日程は全て終了しました。ハンググライディングシリーズランキングの暫定版をホームページに掲載していますので、クレームのある方は委員会事務局までお問い合わせください。

また、2002年のルール改訂案も掲載しています。皆様のご意見を聞かせてください。

10月6日～8日に開催されたデザートパードマンカップ2001の結果も掲載中。

2002年度日本選手権開催地は山形県南陽市、南陽市スカイパークエリアに決定し、開催日程は2002年4月28日(日)～5月4日(土)の7日間です。また、FAIカテゴリー2の公認を予定していますので、参加予定の選手はスポーティングライセンスの取得を忘れずに!

尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。
HG競技委員会事務局 FAX.0299-44-1346
E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp
<http://tomato.saino.ne.jp/>
haku/JHF-HG.html

教習検定委員会 委員長 小野寺 久憲

DHVレポート

今号2～3ページに概略を報告させていただきました。あらゆる面で学ぶことがたくさんあります。DHV活動の全てが、フライヤーの安全のためにあると言っても過言ではありませんでした。詳細レポートを作成中ですが、完成したら希望者にお分けすることも。JHFレポートにも掲載します。

教員検定会開催

すでに最終準備に入っています。昨年同様、茨城県での開催。11月12日から5日間、法政大学石岡体育施設とエアパークCooで

行います。

本年度は、受験申込者が20名弱と少なく、国内景気がこんなところにも現れているのかと、心配です。

教員更新講習会について

今年度も昨年度と同じように開催する予定でしたが、実施方法について様々な意見が出ており、これを検討しているため、開催についてはまだ決まっていません。

また、各都道府県連盟と教員の皆様からご意見を伺い、理事会で検討中です。

理事会決定のあとに、教習検定委員会で詳細を決め、教員の皆様にご案内することになります。受講希望の方は、もう少しお待ちください。

補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

補助動力付パラグライディング日本選手権にかかわる大会として、JHFモーターパラグライディング選手権を、またJHFモーターハンググライディング選手権プレ大会を、10月7日(日)三重県伊勢市にて行いました。大会会場は、昨年パラシューティング世界選手権が行われた三重県営サンアリーナランディング場。伊勢志摩スカイラインの山並みをバックに、サンアリーナ～朝熊ヶ岳～総合運動場をメインコースとしてリッジソアリング、サーマルソアリング、補助動力の併用した競技を実施。伊勢志摩の美しいリアス式海岸の絶景を眺めながら素晴らしい大会になりました。

制度委員会 委員長 小林 秀彰

理事会よりの諮問事項について

JHF返金処理について

返金処理規程案を作成し提出

制度総覧について

掲載されてない文書の抽出

(社)JHFフライヤー会員規程

(社)JHFフライヤー会費規程

(社)JHF事務処理

ハンググライディング ルールブック

パラグライディング ルールブック

JHSC関連

(社)JHF安全性委員会規程、飛行試験実施要綱、飛行試験報告書、グライダー型式登録規程及び申請書、型式登録申請書類の手引き、耐空基準、プロトグライダー登録規程及び登録申請書、プロトグライダー搭乗者同意書、運用限界表示フォーム、グライダー諸元表、事故報告書、補助動力耐空性基準、補助動力飛行試験

以上の文書を電子ファイル化し2002年3月までに制度総覧に加える。

セーフティーアワードについて

安全性委員会と継続協議。

選挙制度の見直しについて

年末までに案を理事会に提出の予定。

選挙管理委員会の協力を要請する。

正会員に事前に配布し、意見を求め、再度案の作成を行う。

安全性委員会 委員長 城 涼一

1997年5月、パラグライディング大会中に死亡事故が起きました。現在、当連盟及び外2名を被告として東京地方裁判所に損害賠償請求訴訟が提起されています。

この事故をできる限り正確に把握するため、本年7、8月にそれぞれ代表理事、会長名で「事故精査の諮問」がなされました。

当委員会はこのを受け、過去の調査資料を精査し、追加調査の必要があると判断しました。事故から既に4年が経過し、関係者の記憶も薄れているかもしれませんが、最善を目指すしかありません。

大会参加者、関係者各位及び全フライヤー会員の皆様におかれては、当委員会の調査へのご協力を宜しくお願い致します。

歴史的事実は一つでしかありません。連盟活動を、訴訟追行の目的と事故防止の目的とに、「目的」という観点で区別することはできません。けれども、その目的のために把握すべき「事実」は一つです。

フライヤーとして、人間としての良心にしたがって、当委員会の調査にご協力いただきますようお願い致します。

JHSC 型式登録機

輸入パラグライダー

2001年8月3日の新規登録

- PI-788 スカイパラグライダー式 リフト24型
- PI-789 スカイパラグライダー式 リフト26型
- PI-790 スカイパラグライダー式 リフト28型
- PI-791 スカイパラグライダー式 フリート24型
- PI-792 スカイパラグライダー式 フリート26型
- PI-793 スカイパラグライダー式 フリート28型
- PI-794 カリブトエアース式 フリビス B1型

2001年8月22日の新規登録

- PI-795 DUDEK 式 VOX25 型
- PI-796 DUDEK 式 VOX27 型
- PI-797 DUDEK 式 VOX29 型
- PI-798 DUDEK 式 MAX25 型
- PI-799 DUDEK 式 MAX27 型
- PI-800 DUDEK 式 MAX29 型
- PI-801 OZONE 式 OCTANE S 型
- PI-802 OZONE 式 OCTANE M 型
- PI-803 OZONE 式 OCTANE L 型
- PI-804 OZONE 式 OCTANE XL 型
- PI-805 OZONE 式 ELECTRON S 型
- PI-806 OZONE 式 ELECTRON M 型
- PI-807 OZONE 式 ELECTRON L 型
- PI-808 OZONE 式 ELECTRON XL 型
- PI-809 DAEKYO 式 EDEL EXCEL S 型
- PI-810 DAEKYO 式 EDEL EXCEL M 型
- PI-811 DAEKYO 式 EDEL EXCEL L 型
- 2001年8月29日の新規登録
- PI-812 OZONE 式 COSMIC-RIDER 型
- PI-813 OZONE 式 ATOM S 型
- PI-814 OZONE 式 ATOM M 型
- PI-815 OZONE 式 ATOM L 型
- PI-816 OZONE 式 PROTON GT S 型
- PI-817 OZONE 式 PROTON GT M 型
- PI-818 OZONE 式 PROTON GT L 型
- PI-819 OZONE 式 PROTON GT XL 型

*最新情報はJHFホームページ(安全性委員会のページ)でご覧ください。

こんな教員になりたい!

2000年度教員検定に合格、教員1年生の二人に聞きました。

今年も教員検定会が近付いてきました。教員の仕事は、想像以上にたいへん。「ちょっと体験できればいいや」という人から「一生飛びたい!」という人まで、さまざまな講習生を安全に空に導くために、今日もたくさんの教員が奮闘しています。彼らを支えているのは、飛ぶことの楽しさをひとりでも多くに伝えたい、という気持ちでしょうか。昨年の検定に合格、教員の仲間入りをしたお二人に、目指す教員像などを語ってもらいました。



で表現していきたいと思います。

講習生にリクエスト!

講習生には、周りとは比べず、マイペースで練習して行って欲しいです。慌てすぎて、基本的な安全確認を怠ったり、力みすぎて空回りなんて事もありますしね! そして、自分の楽しみ方を見つけて、生涯スポーツの一つとして長く続けて行って欲しいです。

宮田 歩(みやた あゆむ)

茨城県の「S.E.T.茨城」でハンググライディング・パラグライディングのインストラクターをつとめる。30歳。学生の時にエリアでのアルバイトを経験し、空を飛ぶ魅力をスクール生と共感することに喜びを感じる。その後、2年間サラリーマンをするが、飛ぶことへの情熱を抑えられず、インストラクターの道に入る。HG歴は10年、PG歴は5年。最近ではパラグライダーで飛ぶことがほとんど。昨年の検定で唯一のHG新教員となった。

まず、教員検定について何か感想はありますか。

もうすでにスクールという現場で仕事をしているのですが、ハンググライディングの基本技術を初心者言葉で説明するのは

難しいと日頃から感じていました。昨年の検定の教習で、田中栄一氏の講習理論に触れることがあり、目からウロコが落ちた感じがしましたね。自分達の中では感覚で納得しているものを言葉にかえ、かつ理論的に説明しなければならない、これはそう簡単なことではありません。前回、検定を受けて非常にためになったと思います。

どんな教員になりたいですか。

ズバリ、兄貴系インストラクター(決して男好きというわけではありません)

どんなフライヤーを育てたいですか。

やはり、教員のエゴかもしれないですけど、飛ぶことが三度のメシより好きなスクール生が好きですね。ハンググライディングを生活の一部にできるフライヤーを育てたいと思います。

どういう教え方を心がけていますか。

これは僕が尊敬する、あるインストラクターに教わったのですが、「スクール生の失敗に対しては絶対に怒らない」ということを心がけています。スクール生は出来なくて当然。知らなくて当然。失敗しないように、出来ないこと、知らないことを教える。そして、失敗してもインストラクターがカバーするべきだ、と思っています。



志村 文(しむら あや)

栃木県の「スカイパーク宇都宮」でパラグライディングのインストラクターをつとめる。29歳。山頂まで聞こえる大きな声と明るい性格、そして一度聞いた名前は忘れないという、インストラクターになるために生まれてきたような新教員である。

まず、昨年の検定の感想を.....

検定を受ける前と後の自分を比べてみると、铮々たる顔ぶれにまじって、厳しい5日間の検定を乗り越えられたという自信が大きく影響しています。検定はとてみたいへんでしたが、得るものが多く、受検してよかったと思っています。

どういった教員になりたいですか。

とにかく安全に楽しく、そして分かりやすく講習していきたいです。ありきたりの事だけれど、それが一番大切だと思います。講習生は、年齢も職業も様々ですし、全員が「わかりやすい」と思える講習をするのは難しいと思いますが、自分の知識や技術も高めて、少しでも目標に近づけるよう、頑張っていきたいです。まだまだ講習生に気付かされることも多いですが、とりあえず講習中はみんなと一緒に自分もどどん練習をして「パラグライダーって楽しいヨ」って、体

カレンダー

場は開催地、連は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

11月	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3 文化の日	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23 地方自治の日	24	25
	26	27	28	29	30		

12月	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23 天皇誕生日
	24 年末年始	25	26	27	28	29	30

パラグライディング日本選手権 IN 白鷹
10月17~21日 場山形県西置賜郡白鷹町
白鷹スカイパーク 連大会実行委員会
TEL.023-672-6206 FAX.023-672-6219
2001年熱気球日本選手権
10月30日~11月5日 場佐賀県佐賀市
連佐賀パラフェスタ実行委員会

TEL.0952-33-3955

助教員検定・兵庫県スカイフェスティバル
11月3日:検定 4日:フェスティバル 場兵庫県
東城崎郡日高町 連兵庫県フライヤー連盟
事務局TEL.0796-45-0598

西日本学生ハンググライダー選手権2001
11月3日・4日 場山口県豊浦郡豊田町、菊川
町 連大会実行委員会代表 岡崎祐太郎
TEL.090-2086-1005

パラグライダー助教員検定
11月7日 場和歌山県那賀郡打田町紀ノ川
フライトパーク 連有 エリアジャパン
TEL.075-605-0343

パラグライダー助教員検定
11月10日・11日 場静岡県田方郡函南町
連神奈川県ハング・パラグライディング連盟
TEL.0460-3-5391

第14回スカイフェスタin都城(イベント)
11月10日・11日 場宮崎県都城市 連実行

委員会 TEL.0986-23-2754

2001年度JHF教員検定会(HG・PG)
11月12日~16日 場茨城県石岡市・新治郡
八郷町 連JHF事務局TEL.03-5840-8311
(参加申し込み受付は終了)

パラグライダーフェスティバル
in 東伊豆2001
11月17日・18日 場静岡県賀茂郡東伊豆町
連大会実行委員会(伊豆フライトハウス内)
TEL.0557-95-0220 FAX.0557-95-5677

2001年もてぎインターナショナル
チャンピオンシップ(熱気球)
11月20日~26日 場栃木県芳賀郡茂木町
連栃木県JBS TEL.0423-94-8320
平和カップ2001in広島(HG&PG大会)
11月23日~25日 場広島市神の倉山周辺
エリア 連広島市ハンググライディング連盟
(高見自動車内)TEL.082-231-2023

法務委員会始動

前号で簡単にお知らせしましたが、7月12日理事会で、法務委員会の設置が決まり、さっそく活動を開始しました。

この委員会は、理事会に属する特別委員会です。連盟活動全般が、正会員・フライヤー会員の視点に立ち、法令や定款に基づいて適正に行われるよう、理事会をサポートする役目を担っています。

「法務委員会規程」第3条にうたわれる活動内容は、以下のとおり。

1. JHFの活動全般について法令・定款等に関わる事項につき検討し、理事会及び監事に助言及び提案を行う。
2. 訴訟の開始、対象形成及び終了並びに争

訟内容形成に関する理事会の決定に際して、理事会を補佐し、助力すること。

3. JHFの活動全般に関する全ての資料を閲覧・謄写等利用し、関係者等への照会及び任意の協力を要請すること。

つまり、連盟の活動が法的に正しいか、きちんと定款を守っているか、訴訟問題が発生した場合にどう対処するか等、法に明るい委員が検討し、理事会にアドバイスや提案をするわけです。

9月末現在、法務委員は城涼一さん(安全性委員会の委員長、日本公法学会のメンバー)、安田英二郎さん(安全性委員会委員、弁護士)、小林秀彰さん(制度委員会委員長)

の3名。城さんが暫定委員長をつとめています。法務委員会の担当理事は、理事就任以前からこのような委員会の設置を提案してきた瀬戸口裕郎副会長と、宮田富由理事。

今後、委員増員の予定もありますので、専門知識をハング・パラグライディングのため、JHFのために活かしたいという方、ぜひ名乗りをあげてください。(委員活動はボランティア、無報酬が原則です。法務委員会へのご連絡は、以下へ。

JHF事務局

TEL.03-5840-8311

FAX.03-5840-8312

Eメール:jhf@skysports.or.jp

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

8月9日理事会

2001年8月9日(木)13時30分～18時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和田、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光男、藤野光一、宮川一郎、宮田富由、横尾和彦各理事、宮川雅博監事 欠席:松永文也理事(出席理事10名、欠席理事1名。定足数に達し、8月理事会成立。) 議長:横尾和彦

審議1:教習検定委員会2001年度事業計画

JHF教員技能証検定試験の開催に係る申請...助教員宛募集文書の日付を一部改定。研修会だけに参加することも出来るので、広く呼びかけて貰いたい。事業計画は、賛成9、反対0、棄権0で承認された。

審議2:安全性委員会2001年度事業計画

優良パイロット表彰制度は、JHF全体として取り組むことになっているので理事会で別に検討。安全性セミナーは、先週北九州で第一回を実施。要望の高い地域から優先的に実施していく。事故調査で、予算がかなり支出されており、予算組み換えの事態が予想される。レッグベルト掛け忘れ防止ポスターは製作過程に入っている。事業計画は、賛成7、反対0、棄権2で可決された。

審議3:パラグライディング競技委員会2001年度事業計画 世界選手権日本チーム派遣費を訂正(正 ¥4,000,000)合計額を訂正(正 ¥7,424,000/予算案どおり)、事業計画は、賛成9、反対0、棄権0で決定された。

審議4:補助動力委員会2001年度事業計画

補助動力技能証規定の見直しと改定...規定の見直しについては、後で審議することとした。事業計画は、賛成8、反対0、棄権1で可決された。

審議5:制度委員会2001年度事業計画及び予算案

2年後の選挙に間に合うように、理事会として選挙制度の見直しを諮問する。2001年度予算額は、委員が1名増えたため当初より若干増加している。事業計画と予算案は、賛成9、反対0、棄権0で可決された。

審議6:新理事セクション担当振分

7月理事会で担当未決定の分野について、提案。この内、C I V Lのalternatは内田孝也氏に交渉中。了解を得られない場合は、岡芳樹氏にお願いする含みの基に、一括採決。賛成9、反対0、棄権0で可決された。

審議7:理事会審議事項の明確化

業務を分担し、理事会機能をアップするために提案。「カテゴリー2申請承認を担当理事決裁とする。賛成8、反対0、棄権1で可決された。

協賛・後援依頼は常任理事会管理部決裁とし、理事会報告事項に組み入れる。賛成9、反対0、棄権0で可決された。理事必携を基に、理事会運営のスケジュールを説明。全員がこれを確認した。

審議8:公認大会取下げに伴う申請料返金について 高山ホルンパーカップ(7/27付)、Cooフルーツカップ

(7/27付)、スキージャンプカップ2001(8/8付)について。

「今回は全額返金し今後はルールを作って対応する」に賛成7、「2万円の申請料の内、保険料相当額1万円のみ返金」に賛成1、「実費を差し引いて返金する」に賛成1。今回は全額返金し今後はルールを作って対応することになった。今後は返金実費(送金手数料)を差し引いて返金するものとし、制度委員会に、返金全般について諮問する。

追記事項:この件については、理事会として正式に回答していない。一部にはJHFが公認を取り消したとの、誤った風評もあるので、法務委員会の答申を待ち正会員に文書で事情を説明することにしたい。(会長提案)

審議9:補助動力技能証規定の見直しと改定について 慎重を期するため、補助動力委員会提案について、正会員、教員にアンケートを実施し、その上で、理事会で話し合うことにする。

審議10:教員更新講習会の義務化について

最近の事故の状況からしても、前向きに取り組む必要がある。県連で実施する事が望ましいが、各県連の実状に大きな差がある。よって正会員及び教員に対し、アンケートを実施することにする。

審議11:理事会運営についての勉強会

9月の理事会と合わせて実施する。原則一日で実施する。

9月7日理事会

2001年9月7日(金)10時～17時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和田、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光男、藤野光一、松永文也、宮川一郎、宮田富由、横尾和彦各理事 欠席:宮川雅博監事 出席理事11名。定足数に達し、9月理事会成立。) 議長:松永文也 勉強会(午前)

関谷常任理事を中心に、理事必携、2001年度事業方針、具体的施策について理解を深めた。朝日会長が本年度予算(修正後)を解説して、業務を予定通り遂行しよう激励した。

審議1:ハンググライディング競技委員会2001年度活動計画・支出計画について(伊賀)

会議費を¥470,000 ¥550,220に、総予算を¥4,340,500 ¥4,420,720に修正。活動計画・支出計画は、賛成10、反対0、棄権0で決定された。

審議2:顧問弁護士委任(推薦)について(瀬戸口)

顧問弁護士が空席となっている。訴訟担当の弁護士と経営運営に係る顧問弁護士は分けたほうがよいので推薦したい。推薦する小堀氏は、専門分野は、国際法、民法だが、会社更生法の専門家でもある。という瀬戸口提案に対し、顧問弁護士を選任する前に、顧問制度そのものがどうかを検討することが先ではないかと動議が提出(横尾)された。

弁護士、公認会計士ないし税理士を顧問として選任して、JHFの運営に当ることについて。

賛成10、反対0、棄権0で決定された。

小堀弁護士の選任について。

賛成5、反対2、棄権3で議決できず。再度審議を行いたいとの動議が出されたが、賛成5、反対5、棄権0となり、議長採決により否決された。

議長採決の理由:この件については法務委員会を設置し、年間30万円の予算支出が既に確定している。更に60万円以上の予算を支出することについて、この情報では判断できない。法務委員会からの報告が9月末に出るのであれば、それを待って判断しても遅くはない。次回審議に当り、答弁書と証拠の採用状況、最後の口頭弁論を追加資料として示すことが要望として出された。

審議3:理事会諮問の返金規定の件

制度委員会からの回答(藤野) 事務処理規定第24条に第2項を付け加える。「収入金を正当な理由により返金する場合は全額を返金するものとする。ただし、振り込み手数料等の返金に関わる諸費用は差し引いて返金する。」これに対する意見・修正案を付して差し戻すことになった。

制度委員会からの依頼:「定款13条3項の趣旨について、文部科学省の現担当者に改めて確認することについて」は了承された。

審議4:選挙管理委員会のメンバーに制度委員会専門委員として、選挙制度改革に取り組むようお願いを出すことについて(藤野)

賛成9、反対0、棄権0で可決された。

審議5:補助動力付きパラグライダー日本選手権大会の公認について(関谷)

大会名称 補助動力付きパラグライダー日本選手権大会 開催日程 10月7日(土)・8日(日)

開催場所 三重県伊勢市

F A Iのカテゴリーではマイクロライトの範疇に入っている。J A AからはF L Mと共同で開催して貰いたいと指導が出ている。また2001年1月17日の理事会で、J A Aに日本選手権公認辞退をすることが可決されている。以上の経緯より日本選手権の名称は使用できないこともあり得る。名称変更もあり得るという条件付で、JHF主催/公認について採決。賛成7、反対0、棄権0で決定された。

協議1:補助動力技能証規定改定について(アンケート) 名称変更は、慎重に行う事を条件に承認された。

協議2:教員更新講習会開催について(アンケート)

特に問題無く、承認された。

協議3:日本体育協会加盟促進について(アンケート) 体協加盟により、国から期待できる援助を強調する一文を挿入した。提案どおり承認された。

協議4:ルールブックの改定について(諮問) 表現を慎重に検討したいとの理由で、提案者により保留となり了承された。

あなたの力をJHFに!

常設委員会の委員、広報出版局の局員を募集します。

JHFには常設委員会があり、委員はそれぞれの課題に熱心に取り組んでいます。また、広報出版局のメンバーも同様に、頑張っていますが、来年、委員・局員の任期が満了します。そこで、ハング・パラグライディングのため、連盟のため、力を貸してくださいの方を募集します。

あなたの力で、JHFを成長させてくだ

さい。委員を募る常設委員会等は次のとおり。詳細は、次号でお知らせする予定です。
 パラグライディング競技委員会
 公認大会の審査、競技ルール改定等を行う。
 ハンググライディング競技委員会
 公認大会の審査、競技ルール改定等を行う。
 教習検定委員会
 教員・助教員の育成、検定等を行う。

補助動力委員会
 補助動力全般にかかわる業務を行う。
 制度委員会
 JHF 規程、制度の検討等を行う。
 安全性委員会
 HG & PGの安全にかかわる業務を行う。
 広報出版局
 会員、社会への情報提供を主にを行う。

理 事 活 動 報 告

JHFの理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしている。就任から9月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

会長 朝日 和博

1. JHFが新体制になり、監督省である文部科学省と日頃ご指導いただいている(財)日本航空協会に、会長、副会長、常任理事、浜石事務局長とでご挨拶に行ってきました。パラグライディングはフライヤーの数からして、スカイスポーツの中では最も国体に近いところにあるので、是非頑張ってくださいと激励を受けてまいりました。今後は広く国民に認められ、何れは国体競技となれるよう努力したいと思ひます。また、フライヤーの力を合わせて組織の力をつけ、その結果公の援助を頂けるようになり、国際大会等にも優秀な選手を送り出せるようにしたいと願っております。

2. スカイレジャージャパン(長谷川常任理事出席) 琵琶湖鳥人間コンテスト(審査員として瀬戸口副会長出席) 航空安全祈願祭、航空功労者表彰式(関谷、長谷川両常任理事出席)等の各種行事に参加。航空功労者の表彰では、田中理事と元連盟監事の柳原さんが表彰されました。

3. 事務局体制は浜石事務局長を中心に鋭意努力していただいておりますが、事務局員に多少の入れ替わりがありました。慣れるのに多少時間がかかりますが、今後の活躍を期待しています。

4. 補助動力技能証の改正、教員更新教育の在り方、その他について正会員、教員より意見をいただくためのアンケートをお願いしております。できるだけ多くの方々の意見を集め、より良い連盟でありたいと思ひます。個人会員の方よりのご意見も歓迎いたします。Eメール等を利用してお寄せくださるようお願いいたします。

5. 競技会の開催に不安を感じているところもあるようですが、JHFとしては安心して競技会を開催できるよう環境を整えて行く努力をしています。

副会長 瀬戸口 裕郎

6月に選任いただきましたのに、あっという間に9月が終わろうとしています。就任後7月の理事会において「法務委員会」を立ち上げ、新年度の業務を遂行して参りました。「法務委員会」は、これまでなかった新しいタイプの委員会ですが、委員長以下与えられた任務を精力的にこなしています。

また7月末には琵琶湖において行われた「鳥人間コンテスト」へ参加いたしました。生憎の気象条件でしたが、参加者の熱意に圧倒された二日間でした。主たる任務は機体検査ですが、早朝から夜遅くまで精力的に行動される他の審査員と共に「安全を第一」に審査を行いました。

8月から9月にかけて、安全性委員会の行う「安全セミナー」の事前準備等で、エリアの視察を委員に帯同し行いました。今後各地で開催されますので、皆様のご協力を賜りたいと願っております。

その他通常の理事会活動に併せ、法務委員会との打ち合わせを行いました。また、その外にも訴訟資料の収集精査等に時間を注入しています。

そろそろ、次年度の業務策定および予算の編成が始まります。課題はたくさんありますが、遺漏なきよう、これらをごなして行きたいと願っています。

常任理事 関谷 暢人

9月20日、東京都新橋の航空会館において「第71回航空神社例大祭」が開催され、朝日会長代理として参列しました。主催の(財)航空協会々長利光松男様はじめ、国土交通省、航空三社、航空スポーツ団体など航空関係者約100人が集まり、10時から航空神社(実は航空会館屋上にある)御前で「航空平安祈願大祭」と称し、航空事業のみならず航空スポーツ関連も含め日本国内における航空交通の安全を祈願しました。

その後「平成13年度(財)航空協会航空関係者表彰式」が開催され、長谷川常任理事(瀬戸口副会長代理)・横尾常任理事とともに列席。航空に関して功績を残された方々11人に「航空協会賞」が贈られ、また、6名1団体に対する「国際航空連盟賞伝達式」が厳粛に行われ、多大なる拍手が贈られました。6名のひとり、JHF推薦の柳原博昭氏(かつてJHF理事会運営で活躍)が「ポール・ティサンディエ・ディプロマ」の授与を伝達されました。

また、今年6月にスペインで開催された「ワールドエアゲームズ2001」で活躍された15名の方々が招待され、「祝賀会」も開催されました。この場でパラグライディング世界選手権女子の部で3位入賞(4度目)した田中美由喜さん(現理事)が紹介され、日本のスカイスポーツ技術を世界にアピールした貢献に、来場者から盛大な声援並びに喝采があくられました。

今年初めてこの催事に参加しましたが、事業・スポーツにこだわらず航空関係者が一同に集結し、日本航空界の発展を目指すパワーは、高いレベルであると認識させられたと共に、我々ハング・パラグライディングスポーツも益々社会貢献しなければならぬと痛感しました。

常任理事 長谷川 光雄

以前、東京都連盟の教習検定委員会に所属し学科検定員及び助教員検定員をしていた関係で、JHFにおいても教習検定委員会を担当することとなりました。担当理事としての初仕事は、11月12日から16日まで茨城県で開催する2001年度JHF教員検定会です。

毎年実施されてきた検定会ですが、今回の特徴は、教員技能証の取得を希望しない人でも、高度な知識や技術を身につけるため研修のみ参加できることです。

最近のグライダー性能の変化は著しく、事故が多発している折でもあり、すでに教員活動をしている皆さんも、指導について勉強し直すための研修参加を考慮されてはいかがでしょう。

これから、都道府県連盟をはじめ、フライヤーの皆様、スクール・業界関係者、パラグライディング・ハンググライディングに携わるすべての皆様のため、少しでもお役に立てればと思っております。

常任理事 横尾 和彦

レポート読者様、お便り・ご意見ありがとうございます。「理事立候補所信」を確認しながら、来年度事業方針・計画のプランを検討しています。

(1)現在までの「JHF方針について

・継続すべきことは何か

・変えなければならない事は何か

(2)将来に渡って

・変更すべきことは何か

・5ヵ年、10ヵ年など、長期的見通し計画はどう立てるべきか
 理事 伊賀 隆一郎

遅れていたHG競技委員会の2001年度活動計画・支出計画についての審議も、9月7日の理事会において行われ、承認されました。

かねてより再検討したいと考えておりました「教員資格更新時の研修会参加の義務付け」については、再度、正会員、教員各位のご意見を伺うべくアンケート調査を行っており、このレポートが発行される頃には集計作業が進んでいると思われます。ローカルのサンデー教員、ボランティア教員にも、経済的、時間的な負担が少なく、内容の充実した教員資格更新制度を実現したいと思っています。

理事 藤野 光一

私が理事に就任いたしましたから現在までの活動についてご報告いたします。

・理事会出席3回(7月、8月、9月)

・制度委員会出席1回(8月)

担当理事として委員会に出席いたしました。その中で、JHF制度総覧CD-ROM化に関する作業、選挙制度改革遂行に関する作業についてお手伝いさせていただきました。(現在も活動中です)

・Jリーグの一部大会中止に関する意見書の提出

PG競技委員会担当理事(サブ)として、会長より意見を求められましたので、担当理事として意見を申し述べさせていただきました。ありがとうございました。(審議中)

理事 松永 文也

厚生活動補助事業費の補助対象となる、社会福祉活動に関する調査を開始しました。対象になるのはハング・パラグライディングを利用した個人または団体の社会福祉的活動です。調査は都道府県連盟を通じて行われます。対象となる活動をしている、または知っている方は、一度連盟事務局までお問い合わせください。

理事 宮川 一郎

就任以来、理事会はすべて出席。その他、広報出版局会議に1回出席しました。担当は教習検定委員会と広報出版局のサブですので、なにか一つを手がけている訳ではなく、今の所は特別に報告する事項はありません。

理事 宮田 富由

理事に就任し、早3ヵ月が過ぎました。この間に勉強会があり、理事としての役割や任務・心構えを学ばせていただきました。

また、瀬戸口副会長と共に安全性委員会及び法務委員会の担当理事として、委員会と協力して「フライヤーの安全」と「現在抱えている訴訟問題の解決」について努力しております。

普及推進室も担当することになりましたので、よろしくお願ひします。

@sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。
いつでも心は空の彼方というあなた、必読！
もちろん寄稿も大歓迎。
「お題はなあに？」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、
JHFへの意見など、どしどし送ってください。
koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

M P G選手権は佐藤良雄選手が優勝。P G日選は？

10月7日(日)三重県伊勢市朝熊町の三重県営サンアリーナにおいて、補助動力付パラグライディング日本選手権にかわる大会として、JHFモーターパラグライディング選手権を開催。またJHFモーターハンググライディング選手権プレ大会を同時に行いました。

当日朝、伊勢神宮に安全祈願のための特別参拝をしてから、伊勢志摩の素晴らしい眺

めが楽しめる会場で競技開始。会場のサンアリーナは、昨年パラシューティング世界選手権が行われたところ。伊勢志摩スカイラインの山並みをバックに、リッジソアリング、サーマルソアリング、補助動力を併用した競技を行いました。

モーターパラグライディング選手権には25名、モーターハンググライディング選手権プレ大会には6名のパイロットが参加。

楽しく技を競い、宮城県の佐藤良雄選手、京都府の坂本美津也選手がそれぞれ優勝しました。大会の報告は、JHFレポート次号に掲載します。お楽しみに。

山形県西置賜郡白鷹町の白鷹スカイパークでは、現在(10月17~22日)パラグライディング日本選手権 IN 白鷹を開催中です。昨年のパラグライディング日本選手権は、春の会期中はコンディションに恵まれず、秋の予備日を使って成立。辻強選手が日本一の座を勝ち取りました。さて、今年はどうなコンディションで、誰が最後に笑うのでしょうか。報告は次号で。

とても繊細なモノ

僕の必需品は「熱い心」です。空に対する熱い心。雲に対する熱い心。スカイスポーツに対する熱い心です。初飛びしたばかりの頃やソアリングし始めの頃は皆それなりに熱いですが、5年も飛んでいると、やはりモチベーションは下がってきます。でも最近仲間とT.O.でその日のタスクを決めて飛んだりする事によって、また「熱い心」を取り戻すことが出来ました。しかしこの「熱い心」はとっても繊細なモノです。馬鹿みたいに辺り構わず口に出してしまうと、一瞬にしてその美しさを失ってしまいます。ここはそっと自分の心の宝箱に入れることにしましょう。ペンネーム:バナナパフェ

悔しがって欲しい!!

初飛びからしばらくの間は一人でも楽しかったのですが、やっぱり僕には「競い合う仲間」が必要なようです。例えば1500mゲインしても、50キロ移動しても、自慢話を悔しそうに聞いてくれる相手が居なければ、少々物足りないです。あの他機をぶち抜いて上がっていく時の快感、皆がぶっ飛んでいる中一人だけ走り回る優越感、それらが僕の「飛び」なのです。ペンネーム:むちうち系

よく効く呪文

必需品とは少しちがいますが、必需呪文がかつて僕にはありました。まだソアリングを始めたばかりの頃、なかなか上手くサーマルに乗れない僕に、イントラがある

呪文を教えてください。「オレサマガブトブ ワケガナイ」とテイクオフする前に3回唱えろと言うのです。その日から僕のソアリング確率は向上し、しだいに呪文を唱えなくてもよくなりました。当時の僕に足りなかったのは飛ぶ前の心構えだったのです。今でもちょっと渋いかな?というときはこの呪文を唱えてから飛ぶことにしています。この呪文は何度使用してもマジックポイントを消費しない優れた呪文であることは言うまでもありません。

ペンネーム:魔術師修行中

とになりました。とほほ。

ペンネーム:年かなあ...

相棒

僕にとって飛ぶときに絶対に必要なもの。それはサングラスです。ヘルメットのデザインにあったサングラスを探していたときこいつに出会いました。こいつとは、もう250時間近く一緒に飛んでいます。こうなってくると、たまに忘れていたりすると、とても不安になり、心の滑空比も激下がりしてしまいます。最近はいつ何時も一緒です。学校はもちろん、大学院の入試の時も一緒でした。大切な相棒です。ペンネーム:黒いRJ

お題はなあに?

今回のお題は「ハング・パラの必需品」。コレがあるから最高の飛びができる！コレのおかげで2倍楽しめる！

年だなんて言わせない!!けど...必需品と言われて見落としがちなのが、グライダーやハーネスじゃないですか?? 私は先日、何を思ったか、テイクオフへ上がるのにハーネスを持つのを忘れてしまいました。もちろん飛べるわけじゃないですよ。誰かに山道を担いで持ってきてもらうわけにもいかず、また山道を歩いて戻るこ

次回のお題は「飛び納め・飛び初め」次号は年末発行。で、飛び納め・飛び初めにまつわるエピソードを募集します。

このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスも忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、ささやかなプレゼントあり！Eメール:koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

「JHFレポートお題はなあに係」まで。回りの原稿締切は11月15日です。なお、文章の主旨を変えずに編集させていただくことがあります。

パラグライダー 今昔物語

第十話 OMEGA 2

栗山 公秀

懐かしのあの機体、忘れられないこの機体、
日本のパラグライディング史上に名を残す翼、再登場。

フライトエリアにいると、いろんな動物に出会えますよね。ランディングをキジが横切るのをよく見かけますし、テイクオフがオープンしてすぐのときに、イタチに似た黄色い毛をした動物 なんだっただろう、あれ を発見しました。

僕はエリアから車で15分のところに住んでるんですが、近所ではタヌキもよく見かけます。やつは夜行性なので仕事が遅くなった日などは車のヘッドライトで光った目をきょろきょろさせてます。

でも極めつけは、すーさんのおうち。エリアのすぐそばのすーさん家では孔雀(くじゃく)を飼っていらっしやる。聞けば、「ランディングの辺りをうろろろしているのらの孔雀がいたからとっ捕まえて飼っている」そうなの。のらくじゃく!?

1991年の夏、地元のエリアでみたライトブルーのグライダー、山肌付近で平気でガンガン回していくあの旋回性能は新鮮な驚きでした。「あの機体なら何てこと無いんだよね」今思えばその一言がとどめでした。あの機体、アドバンスのオメガ2 を今回は紹介します。

翼形は前作のオメガに良く似ていますが、翼弦長が短くその分アスペクト比が大きくなっています。全高は低く(ラインが短い)ボトムラインが非常に少ないのが特徴です。当時の殆どの高性能機はラインの本数を増やしてデリケートな翼形を保っていましたが、当然空気抵抗が増えるという問

題を抱えていました。現在では斜めリブの採用である程度解決しましたが、普通の構造の当機において、この本数は驚嘆します。何しろボトムラインはフロント側から3・4・3本(サイズ25)コンペ機には珍しく3本ライザーを採用しています。

そう、3本ライザーなんです。当時は4本ライザーが多く、機種によっては5本ライザーもありました(翼端折りライザーじゃないよ、全部サスペンションライン)本数が少ないおかげでラインチェックはめっちゃめっちゃ楽でした(実はこれが購入の第一理由であった)

まず思ったのがピッチ運動の鋭いこと。今までの調子でピッチングを試したらあっさりタッキングにはいっちゃった。そして運動性は良いのですが、Gを感じながらのセンタリングではなく、キャノピー自体の旋回性が鋭いせいか、わりとフラットに回る感じを受けました。

当時のアドバンスの機体は今までの他のメーカーとはだいぶ違った印象の機体です。ライザーは短く、ライズアップはフロントライザーを握った手を肩のあたりに置く独特のスタイルです。

勝手もだいぶ違います。最初はあまりキャノピーからの手応えが無く、頭上来ていきなりどかんと揚力が発生する感じ。前作オメガのテイクオフも不評だったようですが、こいつもちょっととこずりました。

それでも慣れてくるとオメガ2の魅力が段々分かってきます。飛びぬけた旋回性の



おかげで山肌近くのサーマルもきっちりまわしていけるし、センタリング時にキャノピーとの一体感がありました(ラインが短くキャノピーが近いせいか)難しいけど飛んで楽しいグライダーでした。

アドバンスのグライダーの特徴に半円形のエアインテークがあります。これはエアインテークの剛性向上、またインテークの下面の振動を押さえる効果があります。またアドバンスといえば翼端ににょっきり生えてるウイングレット(例の"つ"です)ですが、オメガ2のそれはスタビライザーと一体化し、シグマやアルファとはだいぶ違います。ブレークコードを引くと翼端が内側に引き込まれる構造になっていました。

それにしても評価の分かれるグライダーでした。危ないグライダーと言う人も少なくなかったようです。確かに神経を使うところは多かったけど、面白いグライダーであったことは確かです。僕は好きでしたよ。

栗山公秀(くりやままさひで)

初フライトは1987年7月、それ以来バラにはまる。コンペにも参加していたが今は月1~2日程度のマンスリーフライヤー(とほほ)。ホームエリアはスカイパーク宇都宮。現在二児の父。

空の日

柳原博昭さんが国際航空連盟賞を受賞。

9月20日は空の日(国民の祝日ではありませんが)。東京都新橋の航空会館で恒例の(財)航空協会航空関係者表彰と、国際航空連盟賞伝達が行われ、長年にわたってJHF運営に活躍された柳原博昭さんに、国際航空連盟(FAI)のポール・ティサンディエ・ディプロマが授与されることが、正式に伝達されました。この賞は「団体組織等で指導的役割を果たし、航空スポーツの発展に顕著な業績のあった個人に授与される」ものです。

航空に関して功績を残された方々11人の表彰、6名1団体への国際航空連盟賞伝達の後に行われた祝賀会では、今年6月にスペインで開催されたワールドエアゲームズで特に活躍した選手15名が紹介されまし

た。その中のひとり、JHFの理事でもある田中美由喜さんは、パラグライディング世界選手権女子の部で3位に入賞(なんと4

度目の入賞)、日本を世界にアピールした貢献に対して会場から大きな喝采が起こりました。



国際航空連盟賞の伝達を受ける柳原さん。



世界での活躍を紹介される田中さん(右端)。



大会報告

グランボレパラグライダー学生大会
2001年8月6日～8日
群馬県利根郡月夜野町 グランボレエリア
[初級クラス]

- 1位 中島亜沙巳 東京電気大学
- 2位 山下 裕子 中央大学
- 3位 高坂 陽寿 弘前大学

- [中級クラス]
- 1位 渡辺 雄哉 埼玉大学
 - 2位 吉田 昌代 埼玉大学
 - 3位 大槻 真弓 筑波大学

初級から上級までの3つのクラスで開催。上級クラスは残念ながら不成立でした。

公式練習日は中級、上級ともに全員フライトできましたが、大会初日は雨のためキャンセル。選手達は、月夜野町の観光へ出かけました。そして最終日となる2日目も朝からT.Oが雲に覆われていて正午頃までウェイティング。その後、中級クラスの選手は全員無事に競技を行うことができましたが、上級クラスの選手のゲートオープン直前にまた雲が出てきて、見通しが悪化。4人テイクオフしたところで競技の続行は不可能と判断され、キャンセルとなってしまいました。 [記:加藤綾子]

NASA STUDENT CUP2001
2001年8月22日～24日
茨城県新治郡八郷町足尾エリア
[1stクラス]

- 1位 増田 憲治 AIOLOS 1705.0点
- 2位 牧野 祐一 東大ファルサーダ 1274.6点



NASA STUDENT CUPの参加者。全力を出し切った。

- 3位 加藤 実 東海大ANIMALS 1189.1点
- 4位 野呂 文人 EROSPAC 1036.6点
- 5位 照田 征史 EPO 994.1点
- 6位 松原 壮馬 EPO 877.4点
- 7位 豊田 良平 EROSPAC 787.7点
- 8位 笠間 智裕 東海大ANIMALS 628.4点

- [2ndクラス]
- 1位 山崎雄一郎 EROSPAC 2000.0点
 - 2位 杉山 尚 法政PGクラブ1696.4点
 - 3位 林 麻衣 枯れ葉 1126.2点
 - 4位 佐々木英俊 SKY VIEW 985.7点
 - 5位 室田 仁史 EPO 857.1点
 - 6位 野尻 知里 スナフキン 656.2点

- [団体戦]
- 1位 EROSPAC(千葉大) 411.1点
 - 2位 AIOLOS(筑波大) 360.8点
 - 3位 EPO(日大) 350.4点

8月22日から24日にかけて、学生リーグの初戦として開かれまして。心配された台風はやはり直撃し、大会初日はキャンセル。2日目の朝、恐る恐る外を見ると、晴れて風も穏やか。台風は通り過ぎ、2日目と最終日は学生の熱い戦いに足尾エリアにはぎわいました。2日間とも風がだんだんと強くなり、上げきるのが難しいコンディションに選手は苦労していました。1stクラスはパイロンレース、2ndクラスはデュレーションで競技。団体戦は千葉大が層の厚さを見せ優勝。選手も役員も全力を出し切ったので、表彰式とレセプションは開放感ですごい盛り上がりようでした。 [記:伊藤由陸]

第6回 全日本パラグライディング学生選手権
2001年8月28日・29日

福井県勝山市 スキージャム勝山エリア
[エキスパートクラス]

- 1位 高木 宏寿 会津大学 1744点
- 2位 上妻 研介 熊本大学 1583点
- 3位 友澤 一成 日本大学 1537点
- 4位 徳永 昌也 熊本大学 1436点
- 5位 木下 悟 筑波大学 1427点
- 6位 久志本 篤 金沢大学 1370点

- [オープンクラス]
- 1位 寺尾 有貴 東京電気大学 1100点
 - 2位 芝田 健男 金沢大学 1082点
 - 3位 竹村 裕紀 会津大学 991点
 - 4位 藤岡 多恵 中央大学 741点
 - 5位 多胡 善幸 信州大学 736点
 - 6位 川上 賢一 大阪大学 696点

何の呪いだったのか。僕の記憶が正しければ、去年の3月から5つ開催された学生大会で成立したフライトは1本であった。前週開催予定だった恒例の尾神岳は台風で中止。今回の学選も予報では絶望的だった。

21世紀最初の夏、降りしきる雨の中、ワイパーを最高速にし、北陸は福井スキージャム勝山に学生フライヤーは再び集結した。

練習日は雲が多くT.Oの裏の山頂は姿を隠していたが、薄日がさし始めた頃には何とかソアリングできる条件になっていた。

大会初日。やはり雲の多い日だった。日がさすのを待ち、オープンクラスがソアリングを始めたのを見て、12kmのタスクが発表された。それでもコンディションは渋く一時雨まで降り、皆下りてゆく。雲をよく見て吸い上げを利用して飛んだ者、そして後半コンディションの好転を見方にした者達がゴールしたが、大半はリフライト。

2日目。やはり雲が多い。あわよくばもう1本という主催者と、もう一度きちんとレースをして結果を残したい選手の願いが天まで届いた。前日の半分6kmのショートタスク。しかし、コンディションは下り坂で、高度と距離、そして自分の機体性能をきちんと把握した者達がゴールした。計算を過ち、突っ込み過ぎた者は、高度の高いT.Oパイロンで苦労した。

今回はきちんと2本ともタスクをこなした者が上位を占め、納得の行く結果となったのではないだろうか。短いながらも、きちんとしたレースを欠かす事ができ、大会の面白さを再確認した。くじ引きの無い表彰式は気持ちがいい。 [記:友澤一成]



PG学生選手権の参加者。徐々にPG学生大会成立。

社会に何かお返ししていますか？

JHFでは、今年も厚生活動補助事業に基づく調査を実施しています。これは草の根的に行われている、フライヤーによる社会福祉活動にスポットを当て、その実態を把握し、広く社会にアピールすることを目的とした事業です。具体的には、クリスマスにサンタの格好をして養護施設に飛んでいってお菓子を配るとか、身障者を対象とした体験会を開催するなどといったものが調査対象になります。調査の結果、モデ

ル事業に選定された活動に対しては謝金も予算化されています。

昨年の調査では、養護施設への慰問活動、聾啞者対象の体験事業、県下におけるエリア周辺の一斉清掃活動などが、モデル事業として紹介されました。

この調査は正会員(都道府県連盟)を通じて行っていますので、お心当たりのある方は、最寄りの都道府県連盟事務局にご連絡ください。

タメにならない航空史 - 4

アルプスを越えたペルー人

矢ヶ崎弘志



1910年9月23日、イタリアとの国境に近いスイスの町ブリークから、ジョルジュ(ジェオ)・シャヴェーズというペルー人の飛行家が離陸した。目指すのはアルプスを越えてイタリアのドモドッソーラまでの飛行である。

当時の飛行機は、性能や強度が現在のマイクロライト機を少し上回る程度と考えるとよいから、アルプス越えなどは破格の冒険飛行であった。機体が山間部に発生する強烈な風に耐えられるかどうかは、未知の領域だったのだ。

とはいえ、この飛行はシャヴェーズが思い立ったものではない。ミラノで開催された国際飛行大会における、競技種目のひとつだったのである。優勝賞金7万リラ。設定されたタスクは、ブリークドモドッソーラミラノ間150km。しかも高度2,000mを超える山岳飛行を含んでいる。賞金額も高いがリスクもまた大きいレース(になるはず)だった。

ところが、参加予定者5名のうち4名が棄権してしまい、残りはシャヴェーズのみ。これでは競技と呼べないが、それでもシャヴェーズは出発し、上昇旋回を続けて高度を2,000mに上げアルプスに向った。

予定していた、シンプロン峠(標高2,008m)とモンシェラ峠(2,117m)を通り、ドモドッソーラに直進する最短コースは、悪気流に阻まれてしまい、シンプロン峠を抜けた後に大きく迂回しなければならなかった

が、とにかくアルプスは飛び越えた。

そのころ、ドモドッソーラの着陸場に集まった大勢の見物人の目に、シャヴェーズの乗るブレリオの姿が見えた。残されている目撃談によると、シャヴェーズ機はアルプスの谷風に押し出されるかのように高速で、高度もあまり落さぬまま進入してきたという。そして、地上300mあたりから急角度で着陸目標の白十字に向け降下したらしい。高度が30mまで下がったとき、人々は翼の折れる音を聞いた。

シャヴェーズは墜落した機体の残骸から助け出されたが、意識不明の重傷を負っており、4日後に病院で死亡した。23才、飛行経

歴は8ヶ月にも満たなかったが、最初にアルプスを飛び越えたパイロットとして、航空史に名を残したのである。

翼が折れた原因は、急激な降下で速度が過大となり、機体に無理な力がかかったためと思われる。だが、シャヴェーズの操縦ぶりを責める事はできないだろう。乱気流と闘いつづけ心身ともに疲れ果てていたのだから、白十字が見えたとき、一刻も早く着陸したいという気持ちを抑えられないのは当然というものだ。しかもブレリオの構造はひ弱だから、飛行中にダメージを受けていたとも考えられる。悲運だったというほかはない。

シャヴェーズの飛行は、土地の人たちにとって大きな出来事であった。出発地のブリーク、ドモドッソーラの着陸地点と街中に記念碑が立てられており、シンプロン峠のホテル正面には記念レリーフがはめ込まれている。さらに、ドモドッソーラ郷土博物館もシャヴェーズ機の折れた翼を展示している。彼は航空と直接の関係はないアルプス山麓で、町の歴史の一部になっているのである。

なお、ペルーではタートルネックのセーターをホルヘ・チャベス(シャヴェーズのペルー名)と呼ぶという。シャヴェーズが、この種のセーターを常用アルプス越えのときも着用していたことに由来するらしい。

学連だよ! 全員集合!!

こんにちは! もうすっかり秋ですが、変わらない飛んでますか? さて、今号では、夏休みに行われた合宿について報告します。それでは、熊本と中継がつながっていますので呼んでみましょう。熊本のりんさん!!

九州学連夏合宿レポート

はいはい!! こんにちは。熊本大学E-WING Sのりんです。学生パラフライヤーのみなさん、学選には行きましたか。私は残念ながら行きませんでした。決して遠いからではありません! お金がないから、なんて訳でもございません。じゃあ何で行けなかったかって? それは、九州学連の合宿も同じ頃行われたからです。それも場所は種子島! 九州学連の合宿としては初めて海を渡る事になりました。そんなワクワクイベントについて今回は皆さんに報告しようと思います。

合宿にはハング、パラ合わせて約40人が参加しました。種子島はご存知の通り、タネのような形をしています。縦断するのに1時間半くらいで、横断するのには20分位と、なんともナイスな島です。

エリアは、海風が入ってくるのでたいて

い飛べます。残念ながら合宿中は強風続きでパラは飛べませんでした。でも、風はずっと安定していて、降りてすぐ上れる丘での講習で、リッジの練習にはもってこいでした。飽きるほどリッジで飛んでました。

ところで、みなさん。合宿中天气が悪かったら何します? やっぱり屋内で何かするか、観光に行くしかありません。種子島は違います。目の前は海です。海でウキウキです。講習場の目の前はサーフポイントのため波が高かったのですが、ちょっと車で移動すれば海水浴場もちゃんとあります。晴れてる方がいいですが、例え雨でも毎日アウトドアできます。すばらしい。外に飽きたら観光です。宇宙センターが島の南の方にあります。実は、合宿期間中にロケットの打ち上げがあったのです! 一生に一度あるかないかのイベントに立ち会っちゃいました。それはもう、超感動モノでした。

そんな感動を携えてパラ班は足先に合宿終了。しかし、その後の種子島はすごかった! 全国ニュースでも見た人はいるかと思いますが、種子島は観測史上初の大雨に見舞われました。町は水没しそうになるわ、土砂崩れで宿に帰れなくなったり.....恐怖の体験だったそう。それでもハング講習

生達は、無事B級をとることができ、ほっと一安心の合宿でした。

最後に、種子島イントラの中野さん、大変お世話になりました。来年もまたお世話になりますのでお願いします!

*

楽しそうでした。怪我がなくて、何よりです。

さて、もう一つお知らせがあります。前号で今年の夏からPG学生リーグを始めるとお伝えしましたが、都合により今年からの開催を断念しました。詳細が決まり次第、紙面やHPで伝えていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

では、今回の学連ページはここまで。学生諸君、ちゃんと飛べよ! 歯あ磨けよ! さよ~なり~!!

学連への連絡は.....

「学連に加盟したい!」や「もっと詳しく学連のことを教えて欲しい!」やその他学連への応援・苦情などは下記まで。

岡崎勢津子(日本大学3年)

Eメール: jsff2001@hotmail.com

学連HP <http://www.geocities.co.jp/outdoors/2273/>

/outdoors/2273/



連絡ノート
JHF
フライヤー

ハング・パラの普及振興のため、積極的に協力したいと思うのですが、JHFは貸し出す写真を持っていません。

そこで、皆さんにお願いします。ハング・パラの楽しさやおもしろさを伝えられる写真を、JHFに提供してください。ポジ、プリント、どちらでも結構です。デジタルデータは不可。申し訳ありませんが、謝礼はありません。

ご協力いただける方は事務局までご一報を。尚、一般に発表して差し支えない写真に限りです。できるだけメーカー色の強くないものにしていただくと助かります。

大門浩二さんTVドキュメンタリーに
スカパーフェクトTV300ch、全国CATVで放送される“Movin'You.Honda”にHG日本選手権者の大門浩二さん登場。10月26日21時30分から。

JHF事務局
TEL:03-5840-8311 FAX:03-5840-8312
E-mail:jhf@skysports.or.jp

空のかお
その40

田中 真紀子さん
(たなか まきこ)



「ずっと前からパラグライダーが気になっていて、何度も一日体験をやろうとしたのですが、毎回風が悪くて、なかなか始められなかったんです。」 やっとの思いで昨年の12月にパラを始めました。そしてなんと1年も経たないうちにP証を取得した田中さん。それもそのはず、週に3日から4日はエリアに通って練習しているのですから！ 今までのパラへの思いをぶつけるかのように飛んでいます。ホームエリアは静岡県の丹那。景色のすばらしいこのエリアで、田中さんはサーマルを追いかけまわしているそうです。

「これからの目標はやはりXCですね。風や地形から状況判断をして安全に、景色を楽しみながら遠くまでフライトをしたいです。」これから頑張ってくださいね!!

住所等の変更は必ずご連絡を

JHFフライヤー会員登録が済んでいる方をお願いします。お名前やご住所が変わったら、できるだけ早くJHF事務局にお知らせください。フライヤー会員の皆さんには、JHFレポートを偶数月20日頃にお届けしていますが、毎回何十通も住所不明で戻ってきます。皆さんの会費が、こんな形で無駄になるのは、たいへん残念です。

P R用の写真を提供してください

JHFは、各種の情報誌からハング・パラグライディングの写真提供の依頼をよく受けます。

8月・9月のパイロット証取得者 (敬称略 数字は認定日)

パラグライディング		8/27		9/13		9/25	
8/1 秦 真治	8/9 土屋 美輝	8/27 奥出 圭一	9/13 丹羽 紀雄	9/25 小出レイナ			
8/1 平田 明	8/9 田中真紀子	8/27 宮崎 裕輔	9/13 山本 琢也	9/25 大久保方雄			
8/1 山口 文男	8/10 池尻 貴大	8/28 寒川 龍彦	9/13 鮎田 喜信	9/25 竹村 裕紀			
8/1 金杉 寿子	8/10 塚原 浩之	8/28 匹田 均	9/13 藤崎 純子	9/25 藤岡 多恵			
8/1 原 正広	8/10 永田耕太郎	8/28 吉岡 真一	9/13 服部 建	9/25 岡崎勢津子			
8/2 岡村 洋子	8/15 中來田和秀	9/4 大曾根拓真	9/13 元井 伝治	9/25 佐藤 隆信			
8/2 東 由幸	8/15 佐々木 寛	9/4 菊池 澄江	9/13 安廣 光男	9/26 内田 聖一			
8/2 江口 和行	8/15 小林 誠	9/4 田村 明美	9/13 寺尾 勝利	9/26 岡田 有美			
8/2 徳永 修治	8/17 小杉 敬次	9/4 相澤 朋史	9/13 照井 詔	9/26 高橋 美佳			
8/3 板橋 幹男	8/17 佐々木千恵	9/4 古田 博之	9/13 清水 博子	9/26 白石 秀敏			
8/3 峯村 守	8/20 鹿島 祐治	9/4 丸山 宏昌	9/13 杉本 俊介	9/26 鈴木 和夫			
8/3 工藤 嘉彦	8/20 柿沢 豊宏	9/4 田中 正勝	9/13 落合 佑一	9/26 大窪 盛晃			
8/3 羽根田 誠	8/23 清水 俊次	9/6 伊藤 龍夫	9/13 渡邊 芳子	9/26 倉富 香			
8/3 鈴木 秀男	8/23 須藤 祥	9/6 中山 芳彦	9/13 遠藤 義信	9/27 石川達太郎			
8/3 前川 隆磨	8/23 井口 裕	9/6 中村 泰秀	9/13 加藤 秀明	9/27 白倉潤一郎			
8/3 菊田 高司	8/23 有田 国広	9/6 小川 稔	9/13 猪熊 治	9/27 平島由紀子			
8/3 宇都宮直美	8/23 廣田 渡	9/6 伊達 公一	9/13 伊藤 哲夫	9/27 御所園勝之			
8/6 斎藤 悦憲	8/23 正岡 利	9/6 川西 秀明	9/13 石屋 智之	9/27 石田 和則			
8/7 辻本 道彦	8/23 樋笠 俊一	9/6 岩田 盛美	9/13 立川 奈月	9/27 本間 欣久			
8/7 宋 桂雄	8/23 鍋島 恵子	9/6 堀部 英二	9/13 橋 哲夫				
8/7 松原 昌代	8/23 正岡寿美子	9/6 高橋 光	9/13 市川 祥朗				
8/7 深沢 隆久	8/23 奥田 孝志	9/6 人見敬一郎	9/13 西村 靖久	ハンググライディング			
8/7 深沢 浩美	8/23 山崎 厚	9/6 中村 恵美	9/13 諸橋 義孝	8/1 深井 勇			
8/7 櫻井 孝幸	8/23 東田 則夫	9/11 馬場美佐子	9/13 水野谷博樹	8/6 津田 英直			
8/9 松任 辰夫	8/23 神田 耕作	9/11 羽石悠紀夫	9/13 河合 秀和	8/9 油石 雅行			
8/9 山崎 博行	8/24 小豆畑由美子	9/11 高橋 清春	9/19 竹越 充	8/28 平野真由美			
8/9 鈴木 敬一	8/24 加藤 竜介	9/11 高橋 兵機	9/19 増田 知史	9/19 渡邊 昌司			
8/9 今井 桂子	8/24 滝田与志夫	9/11 大沼 良行	9/20 新谷 誠	9/19 永光 秀明			
8/9 早川 章	8/24 宮澤 宗仁	9/13 近藤 正史	9/20 橋 孝士	9/25 佐々木文雄			
8/9 宮代 卓洋	8/24 橋村 剛志	9/13 本橋 茂昌	9/20 藤沢 昭彦	9/25 豊田 良平			

JHF登録スクール 新規登録 & 変更

- 新規 No.99** TNCパラグライディングクラブ(PGのみ)
〒080-0263 北海道河東郡音更町十勝川温泉南12-112
TEL.0155-32-6116 FAX.0155-32-6117 <http://www.nature-tokachi.co.jp/>
- 新規 No.100** DKスカイジム朝霧(PGのみ) 〒418-0101 静岡県富士宮市根原字宝山282-1
TEL.0544-52-1031 FAX.0544-52-1033 <http://www.dkskyworld.com>
- お知らせ No.43** 宮崎スカイスポーツ ホームページが開設されました。
<http://ww61.tiki.ne.jp/wm-skysports/>
- 住所変更 No.61** ブルースカイ 新住所:〒901-2401 沖縄県中頭郡中城村久場1943番地
TEL.098-942-3600 FAX.098-942-3601

9月30日までのフライヤー会員登録数

登録年数	7月31日現在の有効登録数	8月の登録数	9月の登録数	9月30日現在の有効登録数
1年		973	703	
3年		560	409	
合計	15,009	1,533	1,112	15,946

8月・9月の技能証発行数

ハンググライディング				パラグライディング			
技能証種類	8月の発行数	9月の発行数	9月30日までの発行数累計	技能証種類	8月の発行数	9月の発行数	9月30日までの発行数累計
P証	4(1)	4(0)	4,952	P証	65(11)	74(15)	19,380
C証	10(0)	8(1)	6,960	NP証	83(15)	97(18)	10,142
B証	13(3)	13(0)	11,604	B証	146(47)	150(40)	41,595
A証	15(3)	11(0)	12,029	A証	213(60)	232(68)	45,853
補助動力証	0	0	129	補助動力証	2(0)	0	929
XC証	0	1(0)	1,154	補助動力NP証	0	0	66
タンデム証	0	1(0)	38	補助動力B証	0	0	133
				補助動力A証	0	0	162
				XC証	16(2)	11(2)	3,935
				タンデム証	18(1)	12(0)	527

*()内の数字は発行数中の女性の人数です。

編集を終えて
翼は、多くの人にとって憧れの象徴。なのに、全世界を震撼させる道具として使われたのが悲しい。テロリズムが抹殺したのは何千人もの命だけではない。今後、楽しく空を飛ぶ自由が制約されないことを心から願う。 JHF広報出版局

JHFホームページもご覧ください。
<http://jhf.skysports.or.jp/>

JHFレポート11・12月号(No.168)
発行日 2001年10月20日 定価10円
発行 (社)日本ハンググライディング連盟
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
春日Shimaビル8階
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312
編集 JHF企画部広報出版局
印刷 日本印刷(株)
この印刷物は再生紙を使用しています。